

香美町その他施設（公衆便所）個別施設計画

令和6年3月 改訂

香美町

目 次

1	基本事項	
(1)	計画の目的と位置づけ	1
(2)	計画期間	1
(3)	対象施設	1
2	施設の現況及び将来の見通し	
(1)	保有状況	2
(2)	管理運営の状況	2
(3)	利用状況	3
(4)	保全・更新費用の見通し	4
(5)	管理運営費等の見通し	4
3	再編に関する事項	
(1)	再編の方向性の検討方法	5
(2)	再編の実績とスケジュール	6
4	保全・更新等に関する事項	
(1)	保全・更新等の検討方法	7
(2)	保全・更新等の実績とスケジュール	8
5	管理運営に関する事項	
(1)	管理運営の見直しの検討方法	9
(2)	管理運営費の実績と見直しスケジュール	10
6	公共施設等マネジメントによる効果	
(1)	保有量	11
(2)	保全・更新等費用	11
(3)	管理運営費等	11
7	フォローアップの実施方針	
(1)	フォローアップの実施方針	12

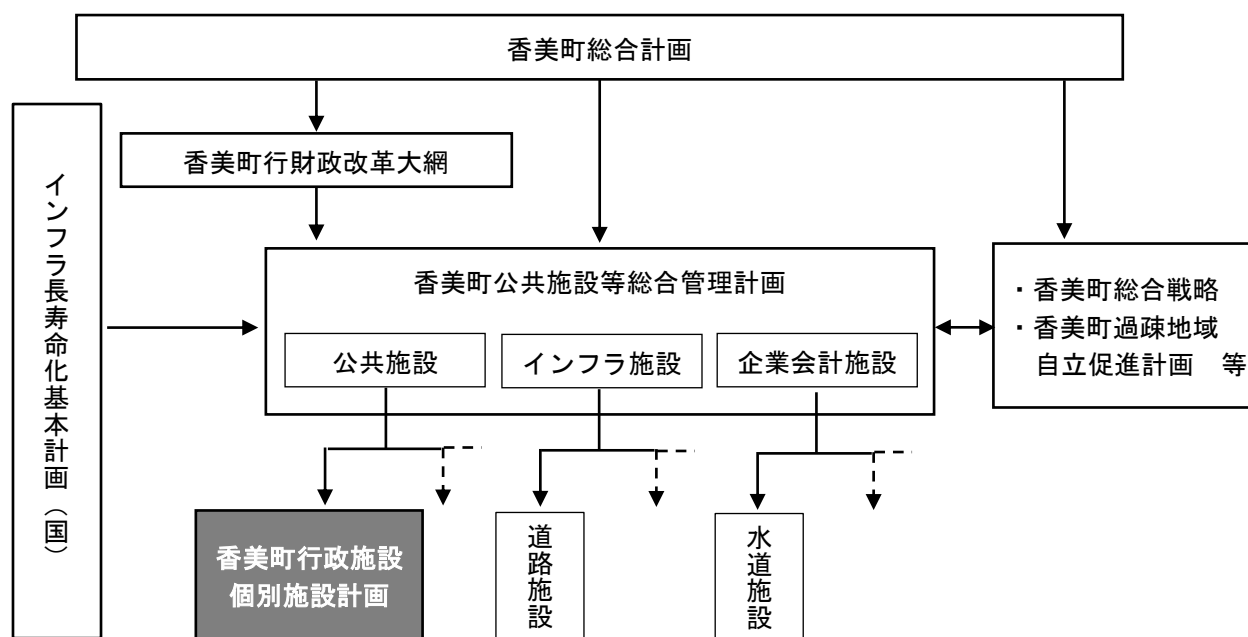
※本計画書中に記載している表の数値は、四捨五入の関係で数値の合計が合わない場合があります。

1 基本事項

(1) 計画の目的と位置づけ

本計画は、「香美町公共施設等総合管理計画（H29. 3月策定、R5. 3月改訂）」（以下「総合管理計画」という。）に基づき、公共施設等の老朽化問題に対応し、財政負担の軽減・平準化を目指していくため、公共施設等マネジメント（保有する公共施設等を有効活用しつつ、施設保有量の見直しや計画的な保全による施設の長寿命化を図るための取組）を推進していくための公共施設に係る個別施設ごとの具体的な対応方針を示した計画です。

また、国の「インフラ長寿命化基本計画」の行動計画（インフラ長寿命化計画＝総合管理計画）に基づく実施計画である個別施設計画（個別施設毎の長寿命化計画）として位置づけます。



(2) 計画期間

本計画の計画期間は、2017年度(平成29年度)から2026年度(令和8年度)までの10年間としています。総合管理計画の計画期間である2017年度(平成29年度)から2046年度(令和28年度)までの30年間に3期に分け、本計画はその第1期分とします。

今回、計画策定から5年が経過したことから、「総合管理計画」R5. 3月改訂に基づき、前期の実績を踏まえ後期の計画を見直し、個別施設計画の改訂を行うものです。

なお、本町を取り巻く社会経済情勢の変化等により、見直しが必要な場合は適宜見直しを行っていきます。

(3) 対象施設

本計画の対象施設は、総合管理計画における施設分類のその他施設（公衆便所）とします。

2 施設の現況及び将来の見通し

(1) 保有状況

令和2年度末現在の施設の保有状況は以下のとおりです。(総合管理計画との比較を行うため、保有状況については、総合管理計画と同じ令和2年度末時点を掲載しています。)

分類	施設名	整備年度	延床面積(m ²)	取得価額(千円)	減価償却累計額(千円)	資産減価償却率(%)
公衆便所	岡見公園公衆トイレ	S38	7	726	726	100.0
	三川観光公衆便所	H21	15	5,361	2,485	46.4
	安木観光公衆便所2号棟	H11	30	13,424	13,424	100.0
	訓谷観光公衆便所1号棟	H8	47	19,467	14,260	73.3
	柴山駅前トイレ	H26	11	6,241	1,623	26.0
	浦上観光公衆便所	H12	33	19,215	10,376	54.0
	柴山スポーツパーク公衆便所	S57	18	1,802	1,802	100.0
	鎧港公衆トイレ	H21	6	3,622	1,685	46.5
	鎧駅トイレ	建物JR保有		3,201	924	28.9
	福岡公衆トイレ	S51	10	2,800	2,800	100.0
	ハチ北公衆トイレ No.3	H2	28	6,684	6,015	90.0
	十石公衆トイレ	S47	38	2,056	2,056	100.0
	猿尾滝自然公園公衆便所	H18	30	8,635	7,436	86.1
	小代神水便所	H5	32	22,660	18,525	81.8
合計			306	115,895	84,138	72.6

(2) 管理運営の状況

① 管理運営方式

管理運営方式の状況は以下のとおりです。

方式区分			施設数
公設公営	直営方式	直	14施設
公設民営	指定管理者方式	指定管理料有り	指-有 0施設
		指定管理料無し	指-無 0施設
	施設貸与方式	貸	0施設

※ 令和3年度時点

② 管理運営費

令和元年度から令和3年度の3年間の管理運営費の状況は以下のとおりです。

分類	施設名	管理運営方式	歳出 (千円)			歳入 (千円)			実質負担額 (千円)			R3-R1 増減率
			R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	
公衆便所	岡見公園公衆トイレ	直	31	31	31	0	0	0	31	31	31	0.0
	三川観光公衆便所	直	36	90	0	0	0	0	36	90	0	▲ 100.0
	安木観光公衆便所2号棟	直	89	0	0	0	0	0	89	0	0	▲ 100.0
	訓谷観光公衆便所1号棟	直	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	柴山駅前トイレ	直	48	55	49	0	0	0	48	55	49	2.1
	浦上観光公衆便所	直	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	柴山スポーツパーク公衆便所	直	43	43	220	0	0	0	43	43	220	411.6
	鎧港公衆トイレ	直	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	鎧駅トイレ	直	33	83	56	0	0	23	33	83	33	0.0
	福岡公衆トイレ	直	448	356	352	0	0	0	448	356	352	▲ 21.4
	ハチ北公衆トイレ No.3	直	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	十石公衆トイレ	直	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	猿尾滝自然公園公衆便所	直	1,275	1,431	1,402	49	52	63	1,227	1,379	1,339	9.1
	小代神水便所	直	239	240	245	44	45	43	195	195	202	3.6
合計			2,243	2,330	2,355	92	97	128	2,150	2,233	2,227	3.6

(3) 利用状況

平成27年度と令和2年度の利用状況の差は以下のとおりです。

分類	施設名	種別	H27	R2	R2-H27 増減率
公衆便所	岡見公園公衆トイレ	使用水量 (m ³)	21.9	22	0.5
	三川観光公衆便所				
	安木観光公衆便所2号棟				
	訓谷観光公衆便所1号棟				
	柴山駅前トイレ		48	78	62.5
	浦上観光公衆便所				
	柴山スポーツパーク公衆便所				
	鎧港公衆トイレ		42	45	7.1
	鎧駅トイレ		25	154	516.0
	福岡公衆トイレ		157	35	▲ 77.7
	ハチ北公衆トイレ No.3		132	67	▲ 49.2
	十石公衆トイレ				
	猿尾滝自然公園公衆便所				
	小代神水便所		165	119	▲ 27.9

(4) 保全・更新費用の見通し

計画策定当初に試算した、計画前の今後 40 年間の保全・更新費用の見通しは以下のとおりです。(総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件・単価で試算しています。)

分類	区分	保全・更新費用 (千円)				合計
		1～10年目 2017 (H29)～ 2026 (R8)	11～20年目 2027 (R9)～ 2036 (R18)	21～30年目 2037 (R19)～ 2046 (R28)	31～40年目 2047 (R29)～ 2056 (R38)	
公衆便所	保全	34,800	24,800	6,300	1,500	67,400
	更新	2,600	16,300	7,700	32,900	59,500
	計	37,400	41,100	14,000	34,400	126,900
合計	保全	34,800	24,800	6,300	1,500	67,400
	更新	2,600	16,300	7,700	32,900	59,500
	合計	37,400	41,100	14,000	34,400	126,900

(5) 管理運営費等の見通し

H26～H28 の実績値等を基に、計画を反映せず推計した計画期間内における管理運営費等の見通しは以下のとおりです。

分類	管理運営費等 (千円)		
	2017 (H29)～2026 (R8)		
	歳出	歳入	実質負担額
公衆便所	21,846	1,073	20,773
合計	21,846	1,073	20,773

3 再編に関する事項

(1) 再編の方向性の検討方法

計画期間の再編の方向性については、総合管理計画による再編（統合や廃止等）の実施方針に基づいた分類ごとの考え方を基本としながら、施設を機能（ソフト）と建物等（ハード）に分けて、総合的に検討を行いました。

また、検討に当たっては、平成 28 年度に実施した公共施設に関する町民アンケート結果も参考にしています。

なお、今回検討した再編の方向性については、町における現時点の基本的な方向性（考え方）を示したものです。実際に再編を検討する際には、この方向性をふまえ、具体的な実施方法等について関係者等と一緒に検討・調整を行い、これまでどおり段階を踏んで進めていきます。

再編の考え方

分類	再編の考え方
公衆便所	・公衆便所については、国・県による設置状況も考慮し、町内での施設配置・規模・機能のあり方を明確にした上で、施設の再編について検討しますが、使用頻度の少ない施設については、廃止を検討します。

以下の区分のとおり施設を機能（ソフト）と建物等（ハード）に分け、計画期間内の再編の方向性を検討しました。

区分	項目	説明
機能 (ソフト)	継続	現在の機能を継続して提供します。(他の公共施設へ機能を移転し、継続して提供する場合も含まれます。)
	新規	新たに機能を提供します。
	移譲	現在の機能を民間事業者等へ移譲します。
	廃止	現在の機能を廃止します。(他の公共施設へ機能を統合し、廃止する場合も含まれます。)
建物等 (ハード)	維持	現在の建物等を維持します。(複数棟ある施設について、一部の建物等を解体撤去する場合も含まれます。)
	大規模改修	長寿命化等のため建物等を大規模改修します。
	更新	老朽化等のため、建物等を更新します。(他の場所へ建物等を移転し、更新する場合も含まれます。)
	新築	新たな機能の提供に伴い、建物等を新築します。
	既設	新たな機能の提供に伴い、既存の建物等を利用します。
	譲渡	現在の建物等を民間事業者等へ譲渡します。
	用途変更	別の機能提供を行うため用途変更を行います。(普通財産への変更も含まれます。)
解体撤去	現在の建物等を解体撤去します。	

(2) 再編の実績とスケジュール

再編を実施することとした施設について検討を行いました。改訂を行うにあたり、2016年度（平成28年度）と前期5年間（平成29年度～令和3年度）は実績を記載し、後期5年間（令和4年度～令和8年度）は再度検討した再編の方向性を記載しております。

分類	施設名	区分	2016 (H28)	前期 2017(H29)～2021(R3)	後期 2022(R4)～2026(R8)
公衆便所	岡見公園公衆トイレ	建物等			更新
	訓谷観光公衆便所1号棟	建物等			更新
	十石公衆トイレ	機能			廃止
		建物等			解体撤去
	(仮) 熱田公衆トイレ	機能			新規
		建物等			新築

【実施実績・方針】

分類	施設名	実施実績・実施方針
公衆便所	岡見公園公衆トイレ	施設の老朽化のため、建物等を更新予定
	訓谷観光公衆便所1号棟	施設の老朽化のため、建物等を更新予定
	十石公衆トイレ	施設の老朽化及び利用実態を踏まえ、令和4年度に機能を廃止し、建物等を解体撤去
	(仮) 熱田公衆トイレ	小代区熱田集落が和牛の聖地として注目され訪れる方が増えているため、公衆トイレを新設予定

4 保全・更新等に関する事項

(1) 保全・更新等の検討方法

計画期間の保全・更新等については、総合管理計画による点検・診断等、維持管理・修繕・更新等、安全確保、耐震化、長寿命化、ユニバーサルデザイン化、脱炭素化の実施方針及び「3再編に関する事項」の「(2) 再編の実績とスケジュール」に基づき、以下の方法で検討を行いました。

なお、今回検討した保全・更新等については、以下の方法に基づいて検討した、目安となる実施時期及び費用を示したものです。

① 保全・更新等の区分

以下のとおり保全、更新、その他の3つに区分しました。

区分	内容
保全	建築（屋根・外壁等）、電気設備（受変電設備等）、機械設備（空調設備等）、昇降機設備等の代表的な部位に係る予防修繕・改修
更新	建物等全体の更新
その他	新築、解体撤去、耐震化、バリアフリー化、省エネルギー設備の導入等

② 保全・更新等に係る費用の算出方法

保全・更新等に係る具体的な費用を算出していない施設については、以下の方法で費用を算出しました。

区分	算出方法
保全	固定資産台帳による取得価額又は再調達価額を基に、施設の用途別に部位ごとの構成比率等を設定し、予防修繕・改修に係る費用を算出
更新	固定資産台帳による取得価額又は再調達価額を基に、更新時の解体費用等も考慮し、更新費用を算出
その他	他の公共施設での実績等を基に費用を算出

③ 保全・更新等の優先順位

防災面で拠点的役割を果たす施設や不特定多数の利用者がある施設を優先するとともに、修繕・改修履歴及び点検結果等による施設の劣化状況に応じて、保全・更新等の優先順位を検討しました。

(2) 保全・更新等の実績とスケジュール

保全・更新等の費用について、保全・更新等の優先順位を考慮しながら、施設の長寿命化・財政負担の平準化を行うため検討を行いました。改訂を行うにあたり、2016年度（平成28年度）と前期5年間（平成29年度～令和3年度）は実績を記載し、後期5年間（令和4年度～令和8年度）は再度検討し算出した費用を記載しております。

分類	施設名	区分等	保全・更新等費用（千円）			
			2016 (H28)	前期 2017(H29) ～2021(R3)	後期 2022(R4) ～2026(R8)	合計
公衆便所	岡見公園公衆トイレ	更新	0	0	4,700	4,700
	訓谷観光公衆便所1号棟	更新	0	0	30,000	30,000
	十石公衆トイレ	その他 解体撤去	0	0	2,200	2,200
	(仮)熱田公衆トイレ	その他 新築	0	0	12,100	12,100
	小代神水便所	保全 便座・手洗場	0	0	1,100	1,100
合計		保全	0	0	1,100	1,100
		更新	0	0	34,700	34,700
		その他	0	0	14,300	14,300
		計	0	0	50,100	50,100

5 管理運営に関する事項

(1) 管理運営の見直しの検討方法

計画期間内の管理運営については、総合管理計画による効率的な管理運営の実施方針、「3 再編に関する事項」の「(2) 再編の実績とスケジュール」及び「4 保全・更新等に関する事項」の「(2) 保全・更新等の実績とスケジュール」に基づき、以下の項目について検討を行いました。

なお、今回検討した管理運営費等については、以下の方法に基づいて算出した目安となる費用等を示したものです。

区分		主な見直し内容及び算出方法
歳出	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・過去3年間（R1～R3）の平均値を基本としています。 ・再編スケジュールに基づく見直し <ul style="list-style-type: none"> 移譲・廃止・譲渡・解体撤去と評価した施設については、再編実施年度の翌年度以降の歳出を0円として算出 新規・新築と評価した施設については、再編実施年度の翌年度以降の歳出を見込みにより算出
歳入	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・過去3年間（R1～R3）の平均値を基本としています。 ・再編スケジュールに基づく見直し <ul style="list-style-type: none"> 移譲・廃止・譲渡・解体撤去と評価した施設については、再編実施年度の翌年度以降の歳入を0円として算出 新規・新築と評価した施設については、再編実施年度の翌年度以降の歳入を見込みにより算出

(2) 管理運営費の実績と見直しスケジュール

管理運営の見直しの検討方法を基に管理運営費等の検討を行いました。改訂を行うにあたり、2016年度（平成28年度）と前期5年間（平成29年度～令和3年度）は実績を記載し、後期5年間（令和4年度～令和8年度）は再度検討し算出した費用を記載しております。

分類	施設名	再編内容	管理運営費等（千円）								
			前期 2017(H29)～2021(R3)			後期 2022(R4)～2026(R8)			合計		
			歳出	歳入	実質負担額	歳出	歳入	実質負担額	歳出	歳入	実質負担額
公衆便所	岡見公園公衆トイレ	更新	155	0	155	156	0	156	311	0	311
	三川観光公衆便所		265	0	265	209	0	209	474	0	474
	安木観光公衆便所2号棟		89	0	89	148	0	148	236	0	236
	訓谷観光公衆便所1号棟	更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	柴山駅前トイレ		274	0	274	254	0	254	528	0	528
	浦上観光公衆便所		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	柴山スポーツパーク公衆便所		393	0	393	512	0	512	905	0	905
	鑑港公衆トイレ		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鑑駅トイレ		275	23	252	286	38	248	561	61	500
	福岡公衆トイレ		1,947	0	1,947	1,927	0	1,927	3,875	0	3,875
	ハチ北公衆トイレ No.3		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	十石公衆トイレ	廃止/解体撤去	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	猿尾滝自然公園公衆便所		7,166	261	6,906	6,848	272	6,575	14,014	533	13,481
	(仮)熱田公衆トイレ	新規/新築	0	0	0	722	0	722	722	0	722
小代神水便所		2,347	220	2,126	1,206	219	987	3,553	439	3,114	
合計			12,911	504	12,408	12,268	529	11,739	25,180	1,033	24,147

6 公共施設等マネジメントによる効果

(1) 保有量

計画前（延床面積） （2015(H27)末）	計画後（延床面積） （2026(R8)末）	効果（延床面積）
337 m ²	275 m ²	▲62 m ²
主な要因		
<ul style="list-style-type: none"> ・解体撤去による減（十石公衆トイレ） ・新規施設による増（（仮）熱田公衆トイレ） 		

(2) 保全・更新等費用

計画前 （2017(H29)～2026(R8)）	計画後 （2016(H29)～2026(R8)）	効果
37,400 千円	50,100 千円	12,700 千円
主な要因		
<ul style="list-style-type: none"> ・平準化による減 ・更新による増 ・解体撤去・新築によるその他の増 		

(3) 管理運営費等

計画前（実質負担額） （2017(H29)～2026(R8)）	計画後（実質負担額） （2017(H29)～2026(R8)）	効果
20,773 千円	24,147 千円	3,374 千円
主な要因		
<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理費（修繕料）の増による増 ・再編（新規/新築）による増 		

7 フォローアップの実施方針

(1) フォローアップの実施方針

本計画を着実に推進していくためには、以下のPDCAサイクルに基づき、継続的に計画の評価・見直しを行いながら推進していきます。

